

虹の大樹

JAさっぽろコミュニケーションマガジン
「にじのたいじゅ」

NO.3288
2026年
4月号

協同組合という
虹のもと、
大都市に深く
根を張りそびえる
大樹のような
JAで
ありたい——



イラスト 森 終衣瑠さん



新しい感性の芽吹き

いつも広報誌「虹の大樹」
をご愛読いただきありがとうございます。
ございます。

この一冊を通して、私たちはま
た一つ、新しい物語を紡ぎ始めます。

瑞々しい感性が、
JAさっぽろの農業の

「物語」を描き出す。
新しい季節の足音。



今月号から表紙のデザインを託したのは、北海道芸術デザイン専門学校(bisen)の学生さんたちです。次世代を担う地元クリエイターを応援したい。そして、学生の瑞々しい目線を通して、JAさっぽろが育む「食と農」の魅力を再発見したい。そんな想いから始まった「学生応援プロジェクト」の一環です。

学生の皆さんとの縁は、昨年の「さっぽろオータムフェスト」に遡ります。青年部マルシェの紙袋をデザインしていただいた際、その真っ直ぐな眼差しと一緒に、同じ想いで描いていきたいという心からの喜びを感じました。プロジェクトの第一歩として、まずは有志の学生たちと共に、石狩の直売所「とれのさと」を訪ねました。今後も、回を重ねるごとに新たなメンバーを迎えながら、多様な感性の輪を広げていく予定です。

この土地が育む風土が、ぎゅっと凝縮されたような野菜の力強さ。土と共に生きる生産者の、真っ直ぐで力強いありのままの姿。それらを肌で感じ、心で描いた学生の自由な感性が、これまでにない新しい「虹の大樹」の顔を形作っていきます。



「虹の大樹」を彩る、未来のクリエイターをご紹介します！

JAさっぽろ「農」デザイン・ラボ

北海道芸術デザイン専門学校(bisen) もりしゅえる
グラフィックデザイン専攻 **森 柊衣瑠さん**

制作をする前に実際に「とれのさと」に見学へ行き、建物や働いている方、お客さまから暖かい雰囲気を感じたので、見ていただいた方にも暖かい雰囲気が伝わるような優しいタッチを意識して描きました。また、新鮮で美味しい野菜などが販売されていて、行くだけでもとてもワクワクするような気持ちになったので、その気持ちをたくさん野菜と人々のミニチュア世界を通して表現してみました！とても素敵な所なので皆さまぜひ、足を運んでみてください！

今月の
表紙イラスト
を描いて
くれたのは…





3/5*

地物市場とれのさと 令和6年度販売金額5億円達成記念祝賀会

地物市場とれのさとでは、令和6年度販売金額が初めて5億円を突破したことを記念し、シャトレーゼガトーキングダムサッポロにて祝賀会を開催。直売所出荷者協議会の会員47名とJAさっぽろの役職員14名のほか、石狩市の小鷹副市長や北海道石狩振興局の濱田産業振興部長などが来賓として出席しました。



挨拶を述べる軽部組合長。

代表理事組合長 軽部 幹夫

とれのさとは、平時には地産地消を推進し、学校給食を通じて児童を育み、災害時には食料供給の拠点となる重要な施設です。地域を守る最前線にあるという誇りを胸にこれからも地域と共に歩んでいきます。



開会の挨拶を述べる、直売所出荷者協議会会長 遊佐 宏文さん。

直売所出荷者協議会会長 遊佐 宏文さん

JAいしかりとJAさっぽろが合併し、とれのさとは大きく飛躍を遂げました。出荷者協議会会員である生産者が近年の災害とも言える異常気象を乗り越えて真摯に栽培に取り組み、そして、担当職員の皆さんが情熱を持って私たちの野菜を販売してくださったからこそ、ここまでくることができました。心より感謝申し上げます。



JAさっぽろ地物市場とれのさとのこれまでの歩み



平成 8 年

旧樽川共撰場にて、
野菜・米直売所オープン



平成 9 年

イベント用テントを用い「JAいしかり地物市場」オープン



平成 23 年

「地物市場とれのさと」オープン



「安全安心な新鮮野菜の里」
という意味を込めて名付け
られました。



平成 28 年 通年営業開始



販売金額 3 億円達成記念祝賀会の様子。

平成 30 年

9 月 6 日 胆振東部地震発生



直後の 8 日より営業を再開し、地域住
民へ迅速な食料供給を行ないました。

平成 31 年

石狩振興局より
「災害時対応ファーマーズマーケット」
道内第 1 号に認定



令和 2 年

店舗リニューアルオープン



直後に新型コロナウイルスの蔓延が始まるも、感染対策を徹底して無休で営業。

現在



年間 22 万 5,000 人以上が
来店する人気スポットとして
日々営業しています。

地物市場とれのさとでは、4 月 4 日(土)より夏
季営業がスタートしました。11 月までは無休
で営業いたします。新鮮な地物野菜やオリジナ
ルの加工品、大人気のベジソフトなどを取り揃
えて、皆さまのご来店をお待ちしております！

2/12(木)

札幌市優良農業者等表彰 北札幌地区・片岡 智さん受賞

模範となる業績を上げた札幌市内の農業者を対象とする札幌市優良農業者等表彰に、北札幌地区組合員の片岡智さんが選ばれ、札幌市役所で表彰を受けました。

昭和51年に開設され、これまでに166の個人・団体に贈られてきた札幌市優良農業者等表彰。45回目となる今回は、未耕作地の整備や排水設備等の持続可能な地域づくりに尽力し、地域農業者のリーダー的存在として札幌の農業を支えてきたことが評価され、片岡智さんが選出されました。

JAさっぽろ玉葱部会の部長も務める片岡さん。表彰を受けて「この表彰を励みに、今後も地域に貢献できるように一層精進いたします」と話していました。



表彰を受けた片岡 智さん(左)と、秋元 克広札幌市長(右)。

3/10(火)

女性部厚別支部 通常総会で恒例の演芸大会

女性部厚別支部(粟井 真由美支部長)では、厚別支店3階JAホールにて第71回通常総会を開催し、部員41名、来賓6名、職員7名が参加しました。

部員数の減少に伴い、「役員のプロック制導入」が議案として審議され、無事可決。令和9年度からの新体制移行を目指して、令和8年度は土台作りの年とすることとなりました。

昼食後は茶道サークルの皆さまからのお茶とお菓子や、小林ヨシ子さんお手製の里芋を使ったほたもちが振る舞われ、和やかな雰囲気。午後からは恒例の「演芸大会」が行なわれ、サプライズ演目も含め、合計8組の歌や踊り、トーンチャイム演奏などが披露されました。

(須澤特派員)



部員の皆さまが作成した展示物。



女性部厚別支部のこれまでの活動を写した写真も展示。



ハンドベルサークル「虹の会」による演奏。

3/13(金)

令和7年度 農協功労者表彰
**軽部幹夫代表理事組合長と
 浅井琢参事が受賞**

共済ホールにて開催されたJA北海道中央会第100回臨時総会の席上で、令和7年度「農協功労者表彰」の表彰式が行なわれ、JAさっぽろの軽部幹夫代表理事組合長と浅井琢参事が受賞しました。

長年にわたって農業振興や農協運動、組合運営に尽力し、功績を残した人に贈られるこの賞。本年度は道内のJAと連合会の役員27名が選ばれました。

令和2年に代表理事組合長に就任した軽部組合長。組合員の生活安定、健全なJA経営を掲げて着実に実践。地域農業の将来と次世代対策、組合の発展に向けてJAいしかりとの融合を提唱し、推進の先頭に立って組織をまとめ上げ、令和5年10月の合併実現に導いた功績が高く評価されました。

同じく令和2年に経済部長・参事に就任した浅井参事。昭和63年の入組以降、経済・営農部門で研鑽を重ね、地域農業振興と組織経営を downside。JAいしかりとの合併時には経済・営農部門の中核を担い、新生JAさっぽろの農業振興部門で重点施策の策定に携わった功績が高く評価されました。



表彰式に臨む軽部組合長(右)と浅井参事(左)。



JA北海道中央会の樽井 功会長より賞状を授与される軽部組合長と浅井参事。



3/19(木)

女性部篠路支部 通常総会
毎年恒例の生活工夫展を開催

女性部篠路支部(嶋 知子支部長)では、篠路支店会議室にて生活工夫展を開催し、部員12名と職員2名が参加しました。

この行事は例年通常総会に合わせて開催されており、「衣」「食」「住」の3部門に加えて手作り品を出品。部員にわたり、部門ごとにその年の金賞・銀賞・銅賞を決定します。「衣」と「住」は作品を手に取りながら、「食」は試食をしながらお互いの力作を採点。総会終了後に表彰式が行なわれました。



「衣」部門金賞の堀尾 久美子さんの作品「ベストとパンツ」。



「食」部門金賞の丹羽 恵子さんの作品「肉巻き厚揚げ」。



「住」部門金賞の杉田 信子さんの作品「編みぐるみ」。



作品と一緒に記念撮影。

理事会だより

第11回定例理事会

令和8年2月27日(金)午後1時00分より、本店3階役員会議室において、定例理事会が開催された。

● 監事会報告事項

1、令和7年度下期随時監査報告

● 協議事項

1、令和8年度 内部監査等実施計画(案)について

令和8年度実施予定の内部監査計画概要について説明され、可決決定。

2、第6次中期3カ年経営計画 令和8年度 本店行動計画の策定について

令和8年度における本店行動計画内容について、部門方針に則った計画取組内容の詳細が説明され、可決決定。

3、令和8年度 事業計画(文書編・数値編)について

令和8年度の経営管理方針・各部門の事業方針・実施方針について、事業量取扱高計画・事業収支計画が詳細に説明され、可決決定。

4、『就業規程』の一部改正について

職員の柔軟な働き方の推進および計画的な休暇取得促進対策として、新採用職員に係る初年度の年次有給休暇取得要件を見直し、採用月に前倒しで5日間付与する改正に係る所要の整備である旨が説明され、協議後、可決決定。

5、『有価証券の減損処理要領』の一部改正について

北海道農業協同組合中央会が提示する「有価証券の減損処理基準(例)」の改訂および「有価証券の時価下落時の会計処理に関する通知」を踏まえた所要の改正である旨が説明され、協議後、可決決定。

6、時価の下落が生じている債券の取扱方針について

組合が保有する債券(国債・地方債・政府保証債)の帳簿価額に対する時価の下落に対応する会計上の減損処理の要否を検討する基準となる運用方針等を明確にするための所要の整備である旨が説明され、協議後、可決決定。

7、特別債権に係る債権の直接償却について

特別債権1件に関わる担保地(伊達市山林)の最終処分が終了し、回収不能金額が確定したことに伴う債権償却最終処理を行う旨が説明され、可決決定。

8、『宅地等供給事業実施規程』および『宅地等供給事業実施要領』の一部改正に

ついて

組合員からの委託に伴い、当組合の事業実施地区に隣接する他組合区域に所有する転用農地等に係る事業発生時に当該組合との協議の可否に係る判断区分、および組合員の次世代対策を踏まえた事業実施地区を拡大することに伴う、所要の整備である旨が説明され、可決決定。

9、固定資産の取得について

当組合の主要品目である玉ねぎの将来的な作付け維持および生産体制の強化を主旨とする、国の補助事業を活用して玉ねぎ選別機械の更新を行なう事業概要等が説明され、協議後、可決決定。

10、『農地信託規程』の一部変更について

農業経営基盤強化促進法による利用権設定等促進事業が廃止されたことに伴い、信託財産の売渡し等を行なう場合には、農地中間管理事業を活用する現行の方法に則った所要の整備である旨が説明され、可決決定。

● 報告事項

1、役員推薦会議からの推薦内容報告

2、常勤役員と青年部本部役員との懇談会結果報告

3、常勤役員と女性部本部役員との懇談会結果報告

4、令和8年度役職員研修計画について

JAさっぽろDATA 令和8年2月末業務実績 令和8年1月末業務実績

組合員数	正組合員	3,686名	3,691名
	准組合員	34,755名	34,744名
合計		38,441名	38,435名
出資金残高		72億7千4百万円	72億7千2百万円
販売取扱高		43億3千5百万円	42億7千8百万円
購買供給高		27億3千8百万円	25億5千7百万円
貯金残高		3,690億4千万円	3,694億4千5百万円
融資残高		1,126億5千5百万円	1,127億2百万円
共済保有高		6,259億5千8百万円	6,271億5千6百万円
施設建設取扱高		8千9百万円	8千9百万円
管理受託戸数		4,725戸	4,716戸

- 5、「JAバンクの内部管理態勢構築に係る指針」の変更について(案)
- 6、「職制規程」業務分掌表および職務権限表の一部改正について
- 7、令和6年度小麦共同計算の結果について
- 8、1月末財務状況報告
- 9、1月末組合員加入、脱退状況報告
- 10、2月の動静と3月の予定について

(閉会・午後5時03分)

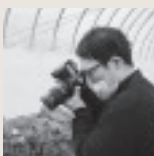
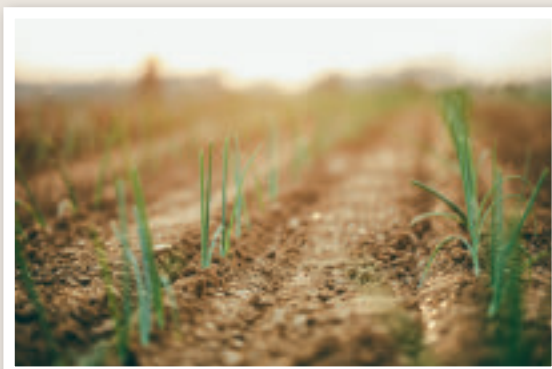


Photo by 曾我 孝博

2020年からフリーランスのフォトグラファーとして主に札幌市内で活動。2022年から2026年3月まで「虹の大樹」表紙と巻頭写真の撮影を担当。

- 写真家・曾我さんの新連載紹介 -

土の体温を写し出す、 風土と「物語」の 静かな鼓動。

これまで長年にわたり、「虹の大樹」の顔として、札幌・石狩の農業を静かに切り取ってきた写真家・曾我さんの作品。そのレンズが捉えてきたのは、単なる風景や産物の記録ではなく、土と共に生きる生産者、飾らない日常と、ひたむきな情熱でした。

今後は、特集「生産者ストーリー」として、生産者の誠実な物語を曾我さんの写真とともに不定期掲載で綴り届けていきます。

曾我さんの写真が写し出す、もうひとつの「物語」にご期待ください。

